













北区は、令和3年度から、『一人1台端末』の環境による教育が実践できるよう、取り組んでいます。今回は、GIGAスクール構想実現にあたり、知っておきたい安全面と健康面のお話しをご紹介します。












★情報モラル教育&リテラシー教育

	区が実施した「ICT 利活用に関するアンケート調査」で、子どもたちが端末を使うことで、「悪口、いやがらせ、仲間はずれ」が起こることを心配している声が、保護者からあるようだけど。
	ICT 機器は、非常に利便性が高く、社会生活から切り離すことができないものです。しかし、使い方によっては、危険なツールとなる可能性もあります。そのため、区では、情報モラル教育を進めるとともに、あわせて情報活用能力を育むリテラシー教育も行っています。
	学校では、具体的にどのように取り組んでいるの？
	道徳の授業では、学年ごとの情報モラルに関する教材が掲載された教科書を活用する情報モラル教育を進めています。また、各学校が実施するセキュリティ教室では、携帯電話会社や通信事業者等の講師を招き、相手への思いやりやインターネットの危険性などを指導しています。引き続き、情報化社会で生きるために必要な態度や考え方を指導していきます。
	端末は、家でも活用することとなるから、家庭でも正しく使わないとね。 貸出される端末には、学習活動に必要なサイトを見ることや、ゲーム等のアプリを子どもたちが入れることができない設定がされているようだけど。
	端末を学習目的以外で使わないことはもちろん、家で使う場所を決めたり、平日や休日別に使用時間を定めたり、ルールを決めておくことが大切です。保護者の皆さまには、お子さんと話し合っ、家庭における使用ルールを決めていただくよう、よろしく願いいたします。

★クラウドサービスの活用

	最近、よくクラウドサービスって、聞くことがあるけど。 クラウドサービスについて教えて。
	クラウドとは、データやソフトウェアの一部が、パソコンの中でなく、ネットワークで繋がった先にあるというもの。権限さえあれば、いつでもどこからでも、アクセスできるのが、クラウドです。
	4月から使う端末機のいろいろなデータ管理も、クラウドサービスを利用するの？
	今後、学習用端末で用いるデータは、サーバーを用いず、クラウドに保存することとなります。また、国の指針に則り、ソフトウェアもクラウド型に統一します。データのみならず、ソフトウェアも集中管理することができ、端末入れ替え時もスムーズな移行が可能となります。サーバーを用意することや、サーバー管理の必要がないので、経費を大幅に削減できるのも利点です。
	いつでもどこからでも、つながることができるなんて、心配だけど。 クラウドサービスの安全性はどうなの？
	クラウドサービスは、厳格なセキュリティ基準のもと、停電や火災にも備えたデータセンターで、最新情報に基づく基準で管理されています。万一、機能が停止しても複数のセンターに分散して保管されるなど、リスク低減も図られています。さらに区では、クラウドサービスや持ち帰るデータに関して、独自のセキュリティーポリシーを策定し、適正な管理を徹底していきます。

健康面の留意事項

	『一人1台端末』が導入されると、長い時間、学習用端末を活用することになると思う。健康面への影響は、どうなんだろう？
	文部科学省の「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」に、留意事項や考え方が示されています。そのなかで、「学校での利用時間程度であれば、健康面への影響は生じないと考えられている。」旨が、示されています。
	子どもたちの健康面の影響に、配慮すべきことは？
	まず、長時間見続けないことが大切です。少なくとも、30分ごとに休む必要があります。
	授業のなかで、先生が工夫できることはあるのかな？
	長時間にわたり端末の画面を注視しないよう、目や身体の疲労を軽減するように、授業の実施方法を工夫することも考えられます。授業のなかで、身体を動かす機会を設ける工夫をすることで、疲労も軽減できます。
	端末の画面が見やすいことも、大切だと思う。そうそう、暗いところや、極端に明るいところで見ないようにすることも、必要なんじゃない？
	例えば、晴れた日の教室では、窓からの太陽光で、端末の画面が見えにくならないよう、カーテンを閉めて明るさを調節するなど、こまめな対応が必要です。児童・生徒が自分の判断でカーテンを開け閉めして、明るさの調節ができるように伝えておくことが大切です。
	明るさの調節のほかにも、配慮することは？
	端末画面の反射を極力抑える必要があります。そのためにも、まず椅子に姿勢よく座ることを習慣づけることが大切です。そのうえで、端末の角度を調整し、視線と端末の画面が直交する角度に近づけることで、画面が見やすくなります。目と端末画面との距離は、30センチ程度以上離すのが望ましいと言われていました。
	家庭で端末を使用するときも、寝転びながら見たり、暗いところで見たりすることのないようにしないとね。
	他にも、長時間の利用を控えるよう配慮する必要があります。また、就寝前に利用すると、入眠作用のあるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され寝つきが悪くなる恐れがあるので、就寝前の利用は控える必要があります。
	そもそも、電波の安全性はどうなの？
	電波が人体に与える影響については、日本を含め、全世界的に見てもこれまで50年以上の研究の蓄積があり、これらの科学的知見を基に、十分に大きな安全性を考慮した基準である「電波防御指針」が策定されています。この基準を満たしていれば、人間の健康への安全性が確保されているというのが、世界保健機関（WHO）などの国際機関をはじめとする国際的な考え方になっています（総務省～電波利用ホームページ）。

北区教育委員会



City of Kita

〒114-8546 東京都北区滝野川 2-52-10

北区役所滝野川分庁舎 2階 11 番

東京都北区教育委員会事務局

【構想全般に関すること】

教育政策課

TEL:3908-9279

【端末機器に関すること】

学校支援課 学校支援係

TEL:3908-9293

【学習全般に関すること】

教育指導課 指導係

TEL:3908-9287